

# 新任の紹介

**● 鈴木先生** 2019年4月に特任教授で着任した鈴木浩一です。私は国際資源環境システム研究室に所属してまして、2017年に新しく設立された北大-九大共同資源工学専攻で「資源システム特別講義」という英語での授業を担当しています。大学に来る前は、電力中央研究所という全国の電力会社が共同出資している研究機関(千葉県)に30数年間勤務していました。そこでは、水力発電所建設地点や導水路トンネル沿いの地盤調査など、全国の電力会社や海外との共同研究でのフィールド調査に従事してきました。専門は学生時代から「物理探査」をライフワークとして、特に電気・電磁探査法の経験が最も多く、そのほか弾性波探査や重力探査にも関わってきました。また、岩石物理学に基づき、複数の物理探査の結果から他の地盤物性値を評価する研究にも興味を持っています。前職時代は「学会で認められても電力に役に立たなければ君の存在価値はないぞ!」とか「そんな研究は電力でしか通用しないぞ!」といったパワハラ的な攻撃に耐え忍んできただけに、大学はとても居心地良く感じます。

♥好きなこと: 30才過ぎからマラソンにはまってしまい、ホノルルマラソンは12回、サロマ湖100kmマラソンは5回、その他のレースもあわせて計60回ほど長距離レースを走ってきました(フルのベスト記録は20数年前の2時間33分台)。富士山には計10回(そのうち5回は富士登山レースで)登っています。この年齢になるとさすがに走力は落ちてきたので、これからは深田久弥著「日本百名山」の登山制覇に切り替えました(ちなみに道内には7つあります)。お酒は若いころからビール党でしたが、ここ数年は日本酒にはまっており、特に純米大吟醸の辛口系が好きです。酒にあう料理作りも趣味の一つです。この年齢で大学教授となり、慣れない環境で戸惑うことが多いのですが(現在単身赴任中)、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

**● パク先生** Hello, my name is Ilhwan PARK (パク イルフアン), a newly appointed assistant professor in the "Division of Sustainable Resources Engineering" since April 2019. I'm belonging to the "Laboratory of Mineral Processing and Resources Recycling (資源再生工学研究室)". I'm from Korea and came to Japan in April 2016 to study at Hokkaido University as a Ph.D. student. During my Ph.D. course, I studied about the microencapsulation technique of sulfide minerals to prevent the formation of acid mine drainage (AMD), considered as a serious environmental problem encountered by mining and mineral processing industries. Nowadays, I'm trying to apply this technique to the field of mineral processing for improving the separation efficiency of complex ores. I'm a co-instructor of the class entitled "Technical English" for B3 students, so I can meet all of you in this class. In addition, I'm often giving special lectures in some classes (e.g., 物理化学 (B2), 物理化学演習 (B3), 選鉱リサイクル工学 (M1), Mineral Processing and Resources Recycling (M1), ect.). My research interests are environmental geochemistry, mineral processing, hydrometallurgy, and resources recycling. If you need any help from me, please feel free to come to my office (A6-58). I'd like to improve my Japanese skills, so your visit will be greatly welcomed.

**● ジョン先生** HGreetings! I am Sanghee Jeon from Korea. I came to Japan in 2016 as a Ph.D. student, then newly started as an assistant professor from 2019 April in Division of Cooperative Program for Resources Engineering. I'm teaching in Human Resources Exchange Seminar Class during the summer semester, which is mainly doing the deepen discussion about Resources in English and also managing students who go to an internship abroad. My major is Mineral Processing and Resources Recycling as well as Hydrometallurgy. Currently, I'm mainly focusing on the development of a novel recovery technique for precious/heavy metal ions from a solution that could not recover the thereof of metal ions by conventional technique. /☑ I like this: I really like to travel, so I travel abroad two or three times a year. I also like watching American drama (especially crime-investigation!) and love seeing musical. I can understand the Japanese, so if you have any questions, please do not hesitate to tell me. My office is A452(2). 私の短い日本語で頑張ります! 何卒よろしくお願ひします!

## ★コースへの意見・要望

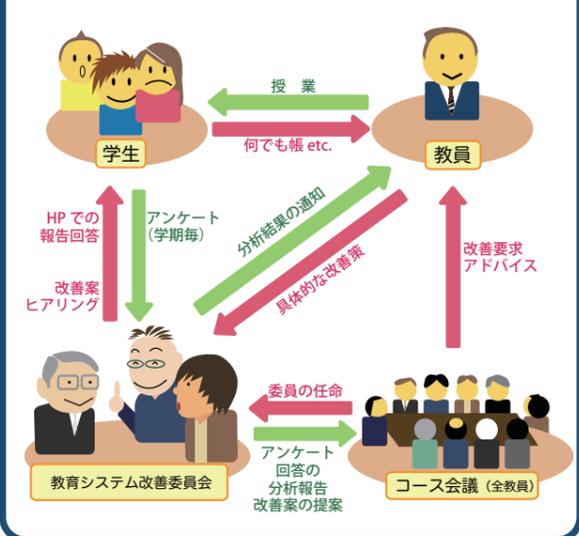
2018年度のアンケートで寄せられたコースへの要望や質問についてお答えします。アンケートの集計結果についてはコースのホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

**Q. もっと社会に近いところで実習や就労体験を積みたい。**  
学部3年、修士1年対象に国内企業のインターンシップを斡旋しています。毎年4月初旬にガイダンスが開催されますので、ご参加下さい。また、その他の企業インターンシップ情報は掲示板にも掲載されますので、参加を希望する学生はこまめにチェックをお願いします。

**Q. 国際的なコミュニケーション能力を早い段階から身につけたい。**  
今回のアンケートでは他にも、英語力を上げたいという趣旨の意見が多くみられました。コースでは技術英語の授業の他、学部3年、修士1年対象に海外インターンシップを斡旋しています。また、工学系教育研究センター(CEED)では2、3、4年生を対象に英語講座を定期的に開催していますので、是非ご参加下さい。本コースには留学生が多数在籍していますので、3年生の12月に研究室配属されると、留学生と英語で交流する機会が増えると思います。また、修士課程になってしまいますが、英語特別コースe3に参加すると100%英語で授業を受けることが出来ます。

**Q. 他の学年との交流があると面白そう。**  
昨年は2~4年生と教授陣を交えた座談会を開き、カリキュラムについての意見交換を行いました。今年も有志を募って10月に開催しますので、参加希望の方は大友までご連絡下さい。

## 本コースにおける教育改善のしくみ



- ### 年間行事
- 4月 新2年生歓迎会
  - 6月 大学祭 資源杯ソフトボール大会 北工会大運動会
  - 7月 北工会テニス大会
  - 8月 オープンキャンパス 大学院入試
  - 10月 北工会文化祭
  - 11月 卒業論文中間発表会
  - 12月 研究室仮配属(3年生) 北工会卓球大会 インターンシップ報告会
  - 1月 北工会冬季綱引き大会
  - 2月 卒業論文発表会 追い出しコンパ
  - 3月 学位記授与式

**メンバーの紹介 & 新委員長から一言**  
資源循環システムコース・教育システム改善委員会の委員長を務めております川崎 了です。二〇一九年四月より、委員長の川崎と委員の児玉先生と大友先生という体制になりました。当委員会は、当コースのカリキュラムや講義の内容を継続的にチェックし、問題を改善することを目的として、今から十七年前の二〇〇二年に設置されました。学生の皆さんに定期的にお願ひしている授業アンケートの分析や改善案の提案などが、主な活動内容となっております。よりよい資源循環システムコースとなることを目指し、これからも引き続き活動しますので、ご協力をお願い致します。



# 講義評価アンケート返版

資源循環システムコース

第十四号  
三十九年九月号

発行元 教育システム改善委員会

## Excellent Teacher 2018 of the year

毎年のアンケートで「すばらしかった科目」として高く評価された科目の担当教員は、Teacher of the yearとしてコースHPに掲載されています。2018年度の授業に対するアンケート結果から、今回は合計2名の先生がTeacher of the yearに選出されました。

**● 「コンピューティング演習」 福田 大佑 先生**

**担当教員のコメント**  
大変貴重な賞に選んで頂き光栄に存じます。何を隠そう学生時代(北大・資源卒です!)はこの科目が本当に嫌い(苦手)でした。そこで、当時の自分に自問を重ね、全資料・課題を刷新したことが良く機能したのかもしれない。本科目をさらに改善すべく、学生さんからの多くの意見を心待ちにしています。

**この科目に寄せられたコメントは**  
・説明が丁寧だった。  
・学生に配慮された難易度、面白さだった。  
・先生が生徒想いで優しくかった。  
・プログラミングの知識が全く無くても、多少できるくらいわかりやすい授業だった!! など

**● 「地球科学」 佐藤 努 先生**

**担当教員のコメント**  
大変名誉あるTeacher of the Yearに選出いただきありがとうございます。大学教員になって、講義に関してこだわっているのは、「教える内容に関しては、自分でまず感動し、その感動が伝わるような講義にしよう」です。他人に自分の気持ちを伝える時の極意の一つです。学生の皆さんもプレゼンで実践してみてください。

**この科目に寄せられたコメントは**  
・講師の熱意がよく伝わってきて、講義に引き込まれた。  
・身近な話や興味のわく話が多くて楽しかった。  
・とても好感の持てる先生で楽しい授業だった。  
・一攫千金のような夢のある話を聞いた。 など